

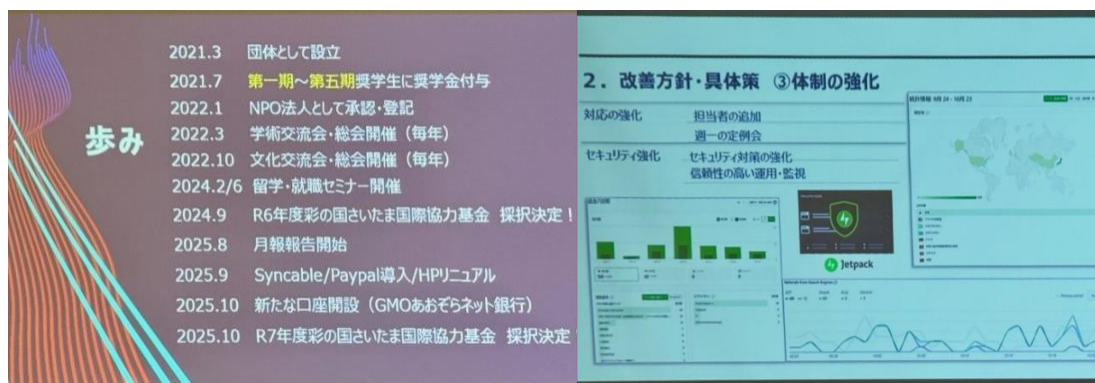


令和 7 年度 第 4 回 文化交流会 開催報告

令和 7 年（2025 年）10 月 25 日（土）、埼玉県三郷市立希望の郷交流センターにおいて、当基金主催による「令和 7 年度 第 4 回文化交流会」を開催いたしました。

当日は、理事・監事、奨学生、会員・賛助会員、地域の皆さまや在日ウイグル人研究者の方々など、約 50 名の方々にご参加いただきました。

開会にあたり、理事長より事業報告および新体制についての説明が行われ、その後、IT チームよりホームページリニューアルに関する報告が続きました。



本交流会のメインテーマである「ウイグルの結婚文化」では、長く受け継がれてきた儀礼や価値観が紹介され、その背景にある文化の豊かさに、参加者の皆さまから大きな関心が寄せられました。

基本的な背景



ウイグル人：主にイスラム教徒

♡結婚：
宗教的な婚姻契約（ニカーフ / نكاح）
家族同士の絆や地域との繋がりを重視

♡結婚：
個人同士の結びつきだけでなく、
家系と家系の結びつき

大切な節目

- ① エルチ・エヴェティシ（使者を送り）
- ③ チャイ・アブリシ（婚約披露宴） → 婚約(Nishan Toy)
- ② サラムガ・ベリシ（結婚前の挨拶）
- ④ ニカーフ（宗教儀式） → 宗教婚(Nikah Toy)
- ⑤ トイ・コチュルシ（結婚式と花嫁迎え）
- ⑥ サラムガ・ベリシ（結婚後の挨拶と感謝） → 披露宴(Toy)

休憩時間には、ウイグルの伝統料理「ポロ」やデザートが振る舞われ、温かな雰囲気の中、参加者同士の交流が深まりました。



文化比較コーナーの「ことわざ文化比較」では、ウイグル語と日本語のことわざをクイズ形式で紹介し、両文化に共通する価値観を楽しく学ぶ場となりました。

また、ウイグル人学生の歌、日本人によるウイグル舞踊の披露を通じて、文化を越えた交流の場となり、会場は大きな拍手と笑顔に包まれ、会が一層盛り上がりました。



さらに、奨学生 4 名の紹介が行われ、それぞれが学業への抱負と支援への感謝を語りました。最後に集合写真を撮影し、自由交流をもって盛況のうちに閉会いたしました。

今回の文化交流会は、ウイグルと日本の文化をむすび、相互理解と友情を育む大変意義深い機会となりました。ご参加いただいた皆さま、そして開催にご協力くださった全ての方々に、心より感謝申し上げます。

